



11月15日（火）は創立記念日のため、外来診療を休診とさせていただきます。

◆巻頭言 周産期センター長 大槻 克文

巻頭言の執筆依頼をいただいたが、筆が（パソコンだが）なかなか進まない。諸先輩方が書かれているような洒落た文章、格調の高い文章や時候を表すような文章を書くことが出来るのか、あるいは「受け」を狙ったような文書が書けるのか、色々考えているうちにひと月が経過してしまった（言い訳になってしまおうが、その間、何もしていなかったわけではなく、依頼原稿や各種学会や委員会の報告書、論文などは書いていた）。



やはり、何事も最初の取っ掛かり（最初の一步）が肝心か。ダイエットや運動についても然りであろう。5年ほど前、一念発起してダイエットを行った。私はイチローと身長がほぼ同じで、最も軽いときにはイチローと同じ体重になったこともある（体脂肪率は異なるのは当然ですが）。しかしながら、最近は徐々に体重が戻ってしまっている。良くない。そこで、今年の夏から食事に気をつけ運動を試みているが、今回はなかなかうまくいかない。多忙を理由にしてしまっている弱い自分がいる。「ダイエットは来年の1月以降の目標とするか？」などと甘い囁きが聞こえてきそうだが、今年はまだ3か月ある。巻頭言に書いてしまえば、逃げるわけにもいなくなる。「食欲の秋！」「味覚の秋！」というもう一人の自分からの囁きと戦う決意をここに記したいと思う。

私のように反省をしている方がいましたら、2016年の残り3ヶ月、何か一つ目標を決めて過ごされてはいかがでしょうか。まだ3ヶ月あります。

この病院便りを手にされたみなさんにとっては色々な意味で「実りの秋」である事を祈念して、巻頭言とさせていただきます。



昭和大学江東豊洲病院

第30号のトピックス

- 巻頭言 周産期センター
産科 大槻准教授
- 専門・認定放射線技師
の業務について
- 米国薬剤師研修報告

◆専門・認定診療放射線技師の業務について 崔 昌五

昭和大学江東豊洲病院の診療放射線技師は、現在22名体制にて業務にあたっています。放射線技術の専門知識を生かし、放射線検査の説明、目的に応じた撮影、3D画像などの作成、読影の補助、診療画像の提供、手術サポートおよび放射線治療などを行っています。また、病院内すべての放射線検査・治療に関わる放射線機器、被ばく線量の管理なども重要な業務となります。

診療業務は、大きく分けて、画像検査、核医学検査、放射線治療に分かれています。今回は、これらの業務に関して、いくつかの専門・認定診療放射線技師について紹介します。

乳腺撮影検査に関しては、新たにマンモグラフィ認定試験に1名が合格し、マンモグラフィ認定技師3名にて対応しています。当院の乳腺撮影装置は、現在の乳腺画像診断において、欠かせないトモシンセシス（断層）機能を搭載したものとなっています。マンモグラフィ認定技師は乳腺撮影機器のチェックや画像の品質を管理する役割があります。さらに、腫瘍陰影や石灰化などの微少な陰影を見つける読影補助も行っています。

一般撮影およびCT検査には、日本X線CT認定技師3名とAI認定診療放射線技師2名、および日本救急撮影認定技師が3名います。CT装置の機器管理やX線出力の確認、そして、CT画像の画質や撮影技術の向上を担っています。

通常の3断面MPR像に加え、血管を描出する3D-Angioや心臓CT、心臓の周りを走る冠動脈を描出する冠動脈CT、骨折などがわかりやすい骨3DCT、歯科領域の検査および画像作成を行っています。

MRI検査には、日本磁気共鳴専門技術者が1名担当しています。専門技術者を筆頭に、MRI装置の機器管理や撮像における画質の品質管理をしています。MRI画像は磁気のひずみが画質に現れるため、磁気とコイル（磁気をうけるもの）を管理することで画質の良いMRI画像が保たれています。また、MRI実地訓練を年に数回行い、MRI検査室に入室する際の安全対策を行っています。

IVR検査には、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師2名が担当しています。血管造影室でおこなわれる検査・治療は、心臓カテーテル検査やアブレーション治療、脳血管アンギオ、動脈塞栓術などがあります。また、緊急を要する脳卒中や急性冠動脈症候群なども多くあります。血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師は緊急検査・治療にいつでも対応できるように装置・機器の管理や最適な放射線量の管理、そして、検査・治療に対応できる人材の



育成も行っていきます。また、当院OPE室には、天井走行式のCアーム血管撮影装置が導入されており、ステントグラフト内挿術（TIVA）や、経カテーテル大動脈弁治療（TAVI）にも用いられています。

核医学検査には、核医学専門技師1名と第1種放射線取扱主任者が2名います。核医学検査は、アイソトープと呼ばれる医薬品を静注し、集積した部位をガンマカメラにて撮像します。目的の臓器の状態が分かる画像データが得られる検査となっています。アイソトープ投与量の最適化には、核医学機器の管理や画質の管理が欠かせません。アイソトープを扱うには、その専門知識がとても重要となっています。

放射線治療においては、放射線治療専門技師、放射線治療品質管理士を1名が有しています。放射線治療分野における専門技師および品質管理士の資格は、診療報酬の専任加算が取れる条件となっています。そのため、放射線治療機器のみならず、患者の状態把握や、放射線量の管理が重要であります。また、強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療（SRT）などの高精度照射においては、特に患者個々の治療計画毎に、放射線量と照射位置照合の精度管理を行っています。放射線治療の多くは癌治療に用いられ、放射線治療をおこなうにあたり、最新の治療装置と位置照合装置を扱う専門知識が必要であります。

また、当院には、臨床実習指導者が5名おり、今後の診療放射線業務を担って行く、学生の臨床実習の教育を行っています。充実した実習とするために重要な資格となっています。

最後になりますが、今後も高度な医療技術の提供、医療安全の上でも専門・認定資格の取得および更新に努めていきます。



左から6人目 崔技師長

11月5日（土）14時から9階講堂にて
第5回 昭和大学公開講座を開催します。
今回の内容は、「腰痛について」です。
「意外と知らない腰痛の原因」－腰痛の基礎知識と治療－を整形外科 星野講師に、「目からウロコの腰痛予防リハビリ」を小西理学療法士が、腰痛についてを解りやすくお話しします。
連絡先 03-6204-6000
内線 6302 管理課まで

第5回 昭和大学公開講座

腰痛について

演題 意外と知らない腰痛の原因 －腰痛の基礎知識と治療－	演題 目からウロコの 腰痛予防リハビリ
演者 昭和大学江東豊洲病院 整形外科 講師 星野 雄志	演者 昭和大学江東豊洲病院 リハビリテーション室 理学療法士 小西 正治

受講生募集

★日時	平成28年11月5日（土） 午後2:00～4:30	★申込方法	電話申込と病院窓口申込による先着順 (定員になりしだい受付を截止させていただきます)
★会場	江東豊洲病院 9階講堂	★連絡先	昭和大学江東豊洲病院 管理課 ☎03-6204-6000 内線6302
★定員	100名		〒135-8577 江東区豊洲5-1-38
★受講料	無料		

主催：昭和大学・昭和大学江東豊洲病院 後援：江東区

◆米国薬剤師研修報告 薬局 阿部 久瑠美

私は2015年9月28日から9月30日までの3日間、米国ロサンゼルスにてミレニア社主催の米国薬剤師研修に参加しました。研修内容はミレニア社にて米国医療制度および米国薬局に関する講義を聴講した後、調剤薬局、病院、在宅輸液薬局、総合シニア施設を見学する内容でした。

米国では日本と異なり薬剤師の監督下で調剤を行うテクニシャンがいます。調剤薬局ではテクニシャンが計数・計量調剤を行い、薬剤師が鑑査を行っていました。病院、在宅輸液薬局においてもテクニシャンが注射薬の混注などを行っており、米国と日本の薬剤師制度および業務内容の違いを学びました。

調剤薬局では患者さんが加入している保険により使用可能な薬剤が決まるため、医師への疑義照会として保険に関する内容が多いことや、在宅輸液薬局においても保険会社と連携して運営しており、米国と日本の医療制度の違いを学びました。

日本の薬剤師制度も米国同様変化してきており、それに伴って業務内容も変化しています。今後の変化に対応しながら、安全な薬物療法に薬剤師が寄与することを常に考えておく必要性を感じました。また、他国の薬物療法ガイドラインや論文を参考にする際、その国の医療制度を理解しておくことの必要性も改めて学びました。今回の研修で学んだことを今後の業務に活かし、日々精進して参ります。



一番右 阿部助教

編集後記 青木 啓一郎

もう10月ですね。今年も残り3ヶ月となりました。季節でいえば秋を少しずつ感じる時期かもしれません。まだまだ残暑は厳しいですが、皆さんは10月ってどんなイメージをお持ちでしょうか。私は秋空が思い浮かびます。秋の空は綺麗ですね。心を浄化してくれるような、そんな空です。通勤帰りにでも、たまには下を向く習慣から空を見上げるのもいいのではないのでしょうか。